

ニュージーランド 北島 ランギトト島 山行報告書

No. 1

日程：2025 年〔令和 7 年〕1 月 29 日

コース：オークランド フェリー乗り場 ⇒ ランギトト島フェリー乗り場 → 山頂 → Wilson.s Park Track
→ ランギトト島フェリー乗り場 ⇒ オークランド フェリー乗り場

参加者：三栗五月・岡村眞由美・岡村繁雄 他 2 名

オークランド郊外のアパートメントを 7 時出発。中心街は結構車が込み合う。

港近くの駐車場に車を止めてフェリー乗り場に 8 時過ぎには到着。

9 時 30 分発のフェリーを待つ間、カモメが飛び交う大きなクルーズ船が停泊している港でのんびりと過ごした。



フェリーチケット売り場



クルーズ船が入港してきた

フェリー乗り場



フェリー乗り場の案内板より



フェリーよりオークランドの中心街を望む



ランギトト島 フェリー乗り場埠頭に到着



フェリー乗り場から登山口へ

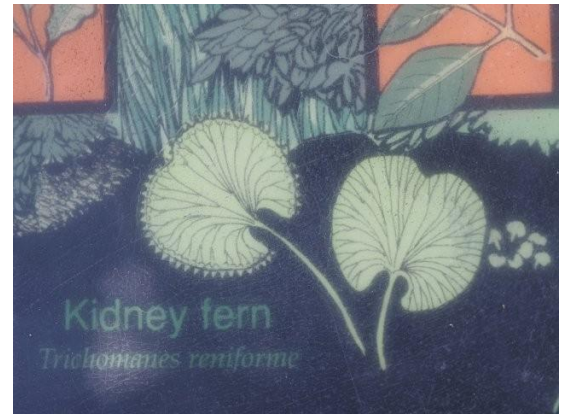


登山口

結構多くの登山者が船で渡って軽装で往復しているようだ。
天候もまずまずで、日が照ると暑いですが、日陰は涼しく過ごしやすい。



右前方 山頂



途中の掲示板より
(学名 *Trichomanes reniforme*)

ヒメノフィラム・ネフロフィラム (腎臓シダ) [Kidney fern]

噴火で出来た火山島に、登山道が整備されていて独特の様相を呈していた。

途中、たまたま出会った登山者に、登山道の脇に生えていた葉は、ニュージーランド特有の「腎臓シダ」だと教えてもらった。



1 時間と少しで山頂に到達



山頂の展望台にて



展望台よりオークランド方面を望む



展望台よりオークランド方面を望む〔望遠〕



ランギット島 山頂〔259m〕



南側の林道までずっと木道が続く

下山は、山頂周辺の火口を左回りに周回した後、南側の林道までずっと続く木道を下った。
林道を数分下ると、Wilson.s Park Track との分岐。ここからは通常の登山道らしく腎臓シダも多く見られ、溶岩原を通過した後、登って着た登山道と合流する。



十数分で林道に到着



林道から Wilson.s Park Track へ

独特の原生林を通過



腎臓シダが両サイドに
びっしり自生している

この溶岩原の先で、登って着た
登山道と合流する





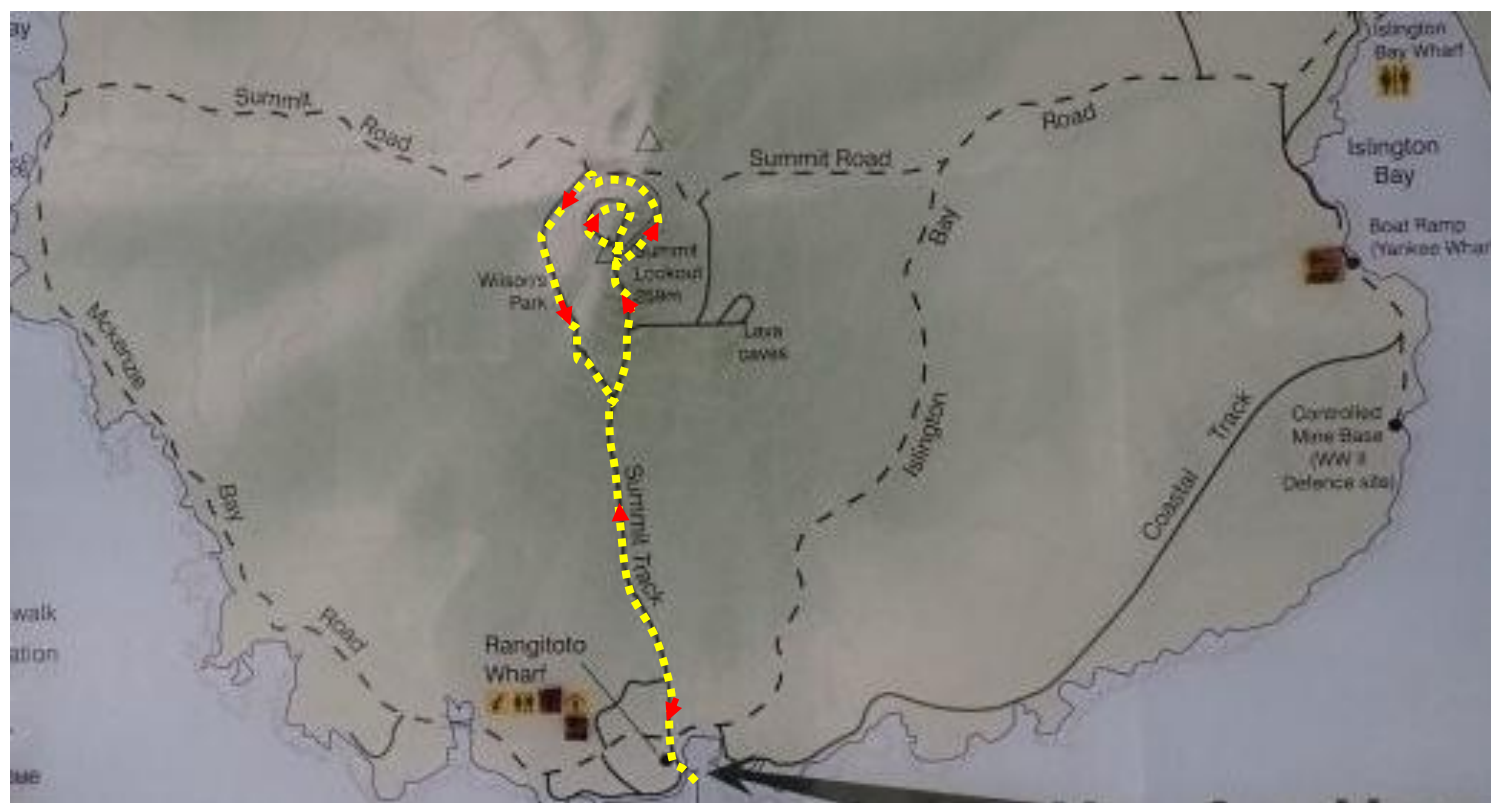
後方 フェリー乗り場の埠頭



登山口に隣接した遊歩道



埠頭付近よりオークランドのビル群を望む〔望遠〕



案内板より〔●▶●▶● ウォーキングコース〕

山頂でゆっくりし、昼食を含んで約 3 時間のハイキングで、13 時 30 分頃には下山。
14 時 30 分のフェリー出発まで、埠頭付近でゆっくりして過ごして船旅でオークランドへ。
飛行機での長旅の疲れがまだ取れないため、今日は、軽めのウォーキングを楽しんだ。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura